

## 地域資源を活用した商品開発・販路開拓及び 日高地域交流ワンストップ窓口運営

- ◆振興山村名：日高村
- ◆事業実施主体名：日高町
- ◆事業実施期間：H28～H30
- ◆交付決定額：10,000千円

①乾燥野菜パッケージ



②ワンストップ窓口設置  
(日高地域コンシェルジュ)



### ◎主な事業内容と効果

①町には、山女魚、山菜、野菜、米、キノコ、木工品など特色ある農林水産物等の地域資源があるが、既存の直売所での売り上げは減少しており、また、農林水産事業者の食品加工知識や技術が加工品開発に活かされておらず、通年で販売できる加工品や地域性を活かした商品が少ない。さらに、マーケティング等の販路確保のノウハウを有する人材が地域内におらず、販路拡大には至っていなかった。

そこで、特色ある地域農林水産物等の加工・販売の強化に向け、食品加工技術を有する農林水産事業者を雇用し商品の開発を行うことで、地域産品の高付加価値化を図るとともに、直売システムの構築・運営を進め、販路拡大を目指した。

これにより、農林水産物によるメニューや加工品が開発され、農林水産物の生産量が増えることで、所得の増大が図られた。また、後継者や加工技術者の定住化が進むとともに、地域産品の高付加価値化により地域資源のブランド化が図られ、魅力ある地域づくりの一助となることができた。

②地域資源である自然・景観・歴史・文化伝承・人材・知識・技術等のデータ化された情報を元に、それらを活用していくためのワークショップ、養成・スキルアップ研修をとおして、地域の観光拠点である道の駅内の観光案内所に、地域内のあらゆる情報を発信可能なコンシェルジュ機能を備えるとともに農林水産事業者や各種体験事業者・人材等と観光客や旅行会社等とを繋ぐ機能として日高交流ワンストップ窓口を設置し、本格稼動に向けた試験運用の中で、利用ニーズ調査や地域活性化のための情報発信基盤構築により魅力ある地域づくりの一助となることができた。

## ◎目標値の設定

- ①売上 ～ 1年目 (1,225万円)、2年目 (1,425万円)、3年目 (16,00万円)
- ②雇用 ～ 1年目 (5名増)、2年目 (3名増)、3年目 (3名増)
- ③道の駅利用者 ～ 1年目 (10,750名増)、2年目 (11,250名増)、  
3年目 (13,000名増)
- ④季節移住者 ～ 1年目 (500名増)、2年目 (300名増)、3年目 (200名増)
- ⑤完全移住者 ～ 1, 2, 3年目 (2名増ずつ)

## ◎事業のココがポイント

乾燥加工により保存期間が延長され、農閑期での販売やネットでの販売が可能になることに加え、有事の際の保存食としての保管や、料理・調理などの2次利用が可能な商品であるなど、幅広い用途での活用が期待される。

## ◎事業実施において苦慮したこと

生産者の後継者不足が顕著な地域であり、新規就農や後継者(担い手)育成が本来急務であるが、所得向上、生産増加なしでは、農業振興・対策も進まないところである。

本事業を生産農家・事業所等との連携を密にし、推進するにあたって、高齢である生産者の意欲、意識の向上とそれを取り巻く関係事業者等の協力・支援体制の構築に苦慮した。